

自殺予防 Suicide Prevention



世界基準の安心安全都市を目指して

セーフコミュニティかごしま

祝認証!

～平成28年1月29日 セーフコミュニティ 国際認証取得～

本日お伝えすること

①鹿児島市の自殺の現状と課題

②4つの取組

図1 年代別自殺者数の推移

50・60歳代が多い現状から、取組のターゲットを50～69歳に決定

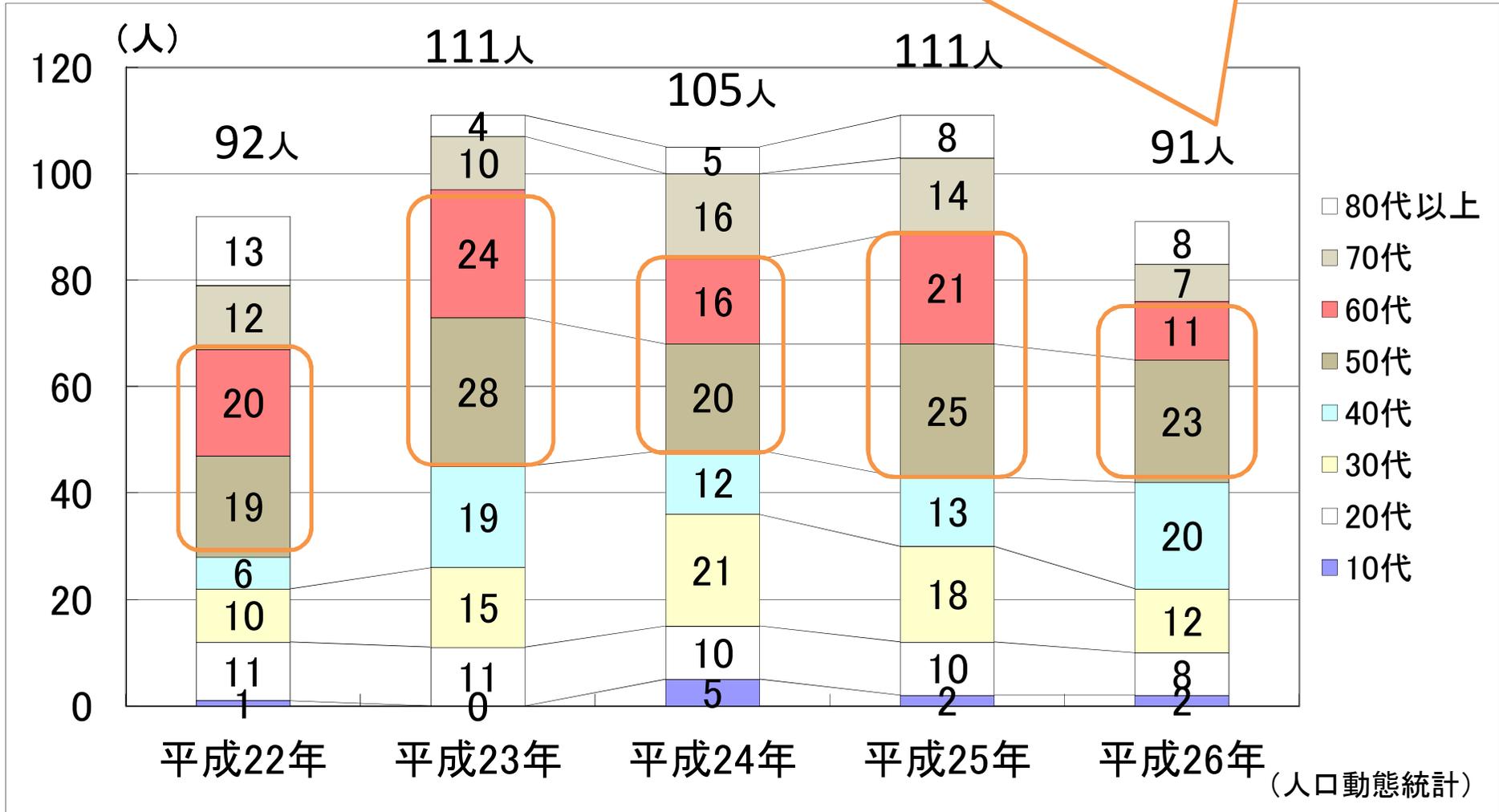
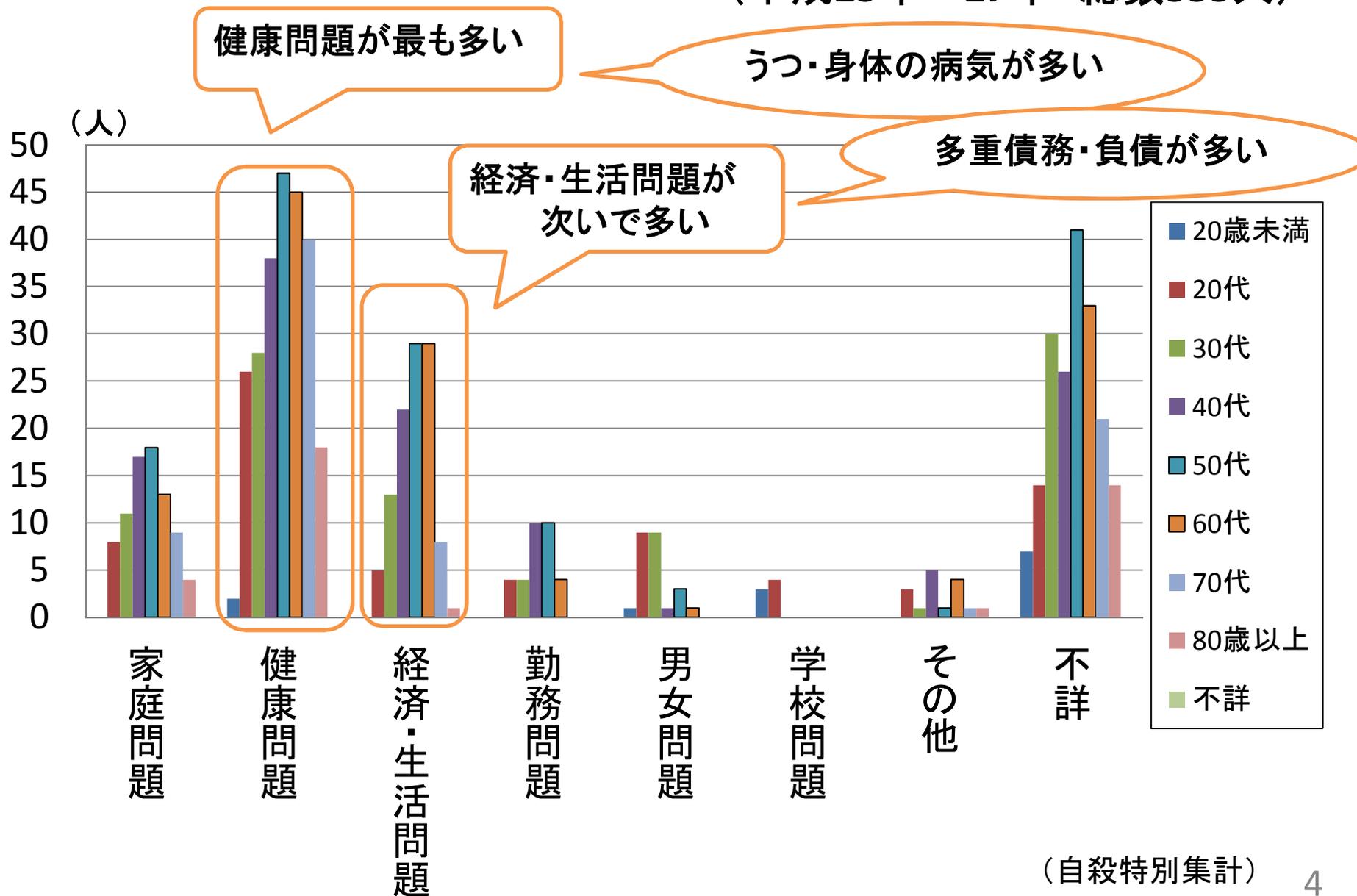


図2 原因別の自殺者数(複数回答 3つまで)

(平成23年~27年 総数555人)



(自殺特別集計)

◀ 統計から見えた現状や課題 ▶

課題1 自殺の原因は、「健康問題」「経済・生活問題」が多く、「経済・生活問題」の内訳をみると、「負債」が原因の自殺者が多い。

課題2 自殺を考えた時、相談していない人が多い。

課題3 自殺に関する相談窓口を知らない人が多い。

課題4 自殺の現状を知っている人が一割にも満たない。

《具体的な取組》

- ① 自殺予防の普及啓発
- ② 50～69歳の周囲の人への支援
- ③ 相談しやすい場の設定
- ④ 相談窓口の周知

取り組み1 自殺予防の普及啓発

その他、
保健センターの祭り・イベント
等でも活用予定。



* のぼり旗

広報

- * 市民のひろば
- * 健康ニュース
- * ホームページ
- * 鹿児島県自殺予防街頭キャンペーン
- * 市民健康まつり
- * 各保健センター健康まつり 等



取り組み2

50～69歳の周囲の人への支援

市民向け



職員向け

* ゲートキーパー養成講座

9月10日～16日は自殺予防週間です。

第1回 生活とこころの無料悩み相談 &ミニレクチャー

～1人で悩んでいませんか？誰かと話したら、きっと心が軽くなる～

自殺対策は生きる支援です。自殺予防週間は、自殺や精神疾患について正しく知ること、これらに対する偏見を無くしていくこと、更に、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたらまわりの周囲の対応の仕方等について理解してもらうことを目的としています。我が国の自殺による死亡者数は、平成28年で約2万5千人。鹿児島市においても、毎年100人前後（働さざかりの50、60歳代が多い）という深刻な社会問題になっています。

自殺は自由な意志や選択の結果ではなく、健康問題、経済・生活問題など様々な要因が複雑に関係し、心理的に追い込まれた末の死といわれています。まずは、相談してみませんか？

1. 開催日時：9月12日(月)～9月16日(金)
18時～20時30分



受付時間：17時50分～19時50分 ミニレクチャー開催：18時～18時20分
*1つの相談内容につき、相談時間は原則1人30分以内
*最初に相談内容についてお聞きして、ご案内します。

2. 会場：鹿児島市勤労者交流センター（よかセンター）7階
(駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。)

3. 内容：

内容	9月12日(月)	9月13日(火)	9月14日(水)	9月15日(木)	9月16日(金)
暮らしに役立つ！『ミニレクチャー』	18時～18時20分(20分間)				
	「自殺予防週間特別講座～鹿児島市の自殺の現状と対策～」 (鹿児島市保健所)	「ストレスは悪者か？！～達成感とストレス解消～」 (臨床心理士)	「不登校生と家族の支援」 (いじめ対策プロジェクト)	「こころを元気にするヒント」 (精神保健福祉士)	「消費者トラブルにあわないためには？！」 (司法書士)
相談できる内容①	法律相談 (弁護士)	こころの相談 (臨床心理士)	いじめ・不登校の相談 (いじめ対策プロジェクト)	こころの相談 (精神保健福祉士)	法律相談 (司法書士)
相談できる内容②	こころの相談 (医師)	法律相談 (司法書士)	こころの相談 (医師)	法律相談 (弁護士)	こころの相談 (臨床心理士)

【主催】 鹿児島市自殺予防対策委員会
【お問い合わせ先】 鹿児島市保健所保健予防課 TEL：258-2351 FAX：258-2392

取り組み3 相談しやすい場の設定

アンケートの結果！

- ・夕方18時以降！！
- ・ショッピングセンター！！

ミニレクチャー

「消費者トラブルに
合わないためには?！」



「不登校生と
家族の支援」

取り組み4 相談窓口の周知

手書きのメッセージを添えて、取りやすいように工夫。



* かがしま市民福祉プラザ トイレ

世界最善の安心安全都市
セーフコミュニティがこしま

みんなでつくる
セーフコミュニティがこしま
～世界最善の安心安全都市を目指して～

推進中! ご相談ください!

鹿児島市は安心安全なまちづくりに取り組んでいます。

こころの健康 のこと	鹿児島市保健所 保健予防課	258-2351	借金・生活 法律のこと	鹿児島市消費生活センター	252-1919
	鹿児島市精神保健福祉交流センター	214-3352		鹿児島市生活自立支援センター	803-9521
	鹿児島県精神保健福祉センター	218-4755		市民相談センター ・一般相談(金銭貸借、相続問題、離婚手続きなど)	216-1205
	鹿児島いのちの電話	250-7000		鹿児島県弁護士会	226-3765
	かかりつけ医・地域の各保健センター			鹿児島県司法書士会	256-0335
学校・子ども 若者のこと	教育委員会青少年課 教育相談室 ①学習、進路、不登校、いじめ、子育てなど ②いじめ電話相談～心のダイヤル～	①226-1345 ②224-1179	家庭 人間関係 のこと	法テラス・サポートダイヤル	0570-078374
	かこしま子ども・若者総合相談センター	257-8230		子どもと女性の相談室 ①家庭児童相談 ②女性相談	①216-1262 ②216-1263
	NPO 法人いじめ対策プロジェクト(不登校相談)	254-7360		サンエールかこしま相談室(鹿児島県医師会精神保健センター) ・女性相談、法律相談、心理相談、男性相談 (生き方、人間関係、家族、夫婦、DVのことなど)	813-0853
仕事や職場 のこと	ハローワークかこしま	250-6060	介護のこと	介護保険課 ・介護保険相談 ※もよりの長寿あんしん相談センターでもお受けいたします	216-1277
	雇用相談室(市民相談センター内)	216-1329		高齡者のこと	鹿児島シルバー110番 高齡者やその家族の方々の心配ごと、悩みごとの相談
	鹿児島労働基準監督署	214-9175	人権のこと	鹿児島地方務局 人権擁護課	259-0684
	鹿児島産業保健総合支援センター	252-8002	その他のこと	鹿児島県自殺予防情報センター (自殺を考えている方、自死遺族などの相談)	228-9558

自決対策は 生きる 支援です

※上記以外にも各種相談窓口がございます。
「市民便利帳」や「市民相談のご案内」、市民のひろば、鹿児島市のホームページなどもご覧ください。
鹿児島市自殺予防対策委員会

いきる



* こころの
健康づくり週間
啓発ポスター

2015.08.10

* 市電の中吊り広告

ご清聴ありがとうございました



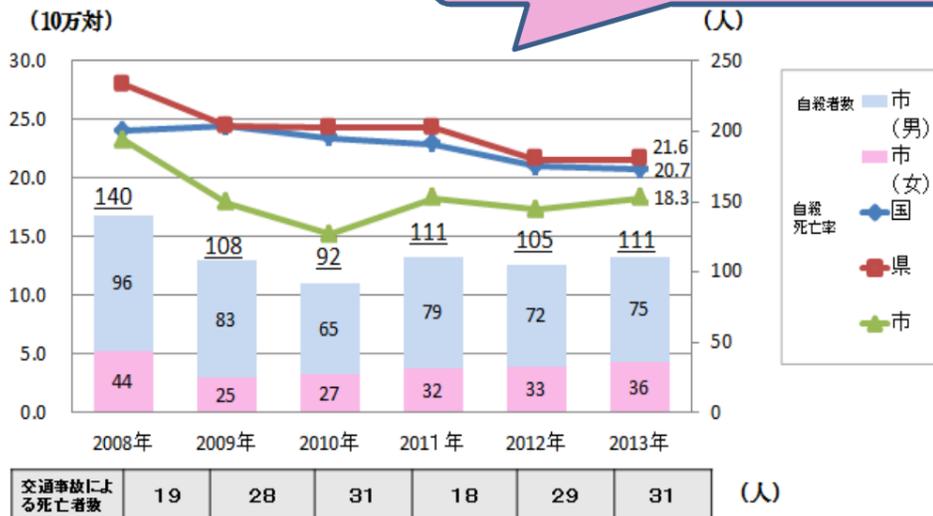
鹿児島市自殺予防対策委員会

自殺の現状と目標

自殺予防分野では、自殺の現状を分析し鹿児島市の現状に沿った取り組みを進めます。

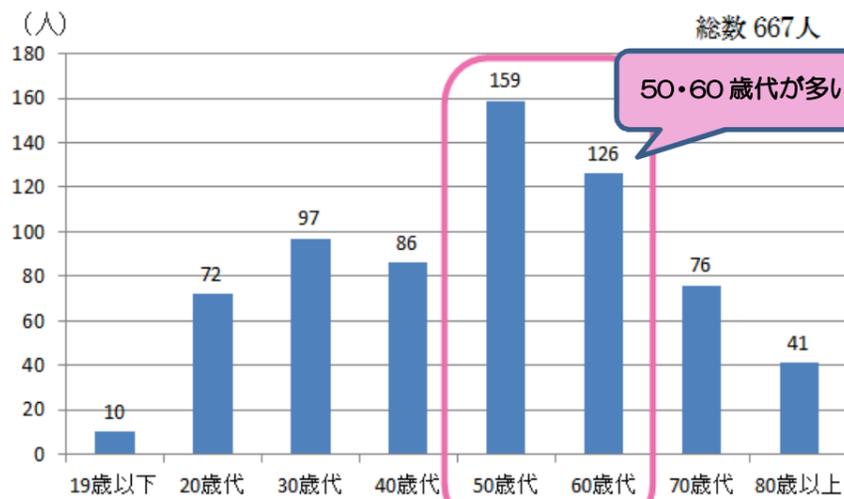
自殺死亡率と自殺者数の推移

自殺死亡率は国や県よりは低く推移しているが、鹿児島市では毎年100人前後が自殺で亡くなっている



【出典】かごしま市の保健と福祉(人口動態統計)(鹿児島市)【データ】国、県、市、両性、全年齢、2008～2013年合計

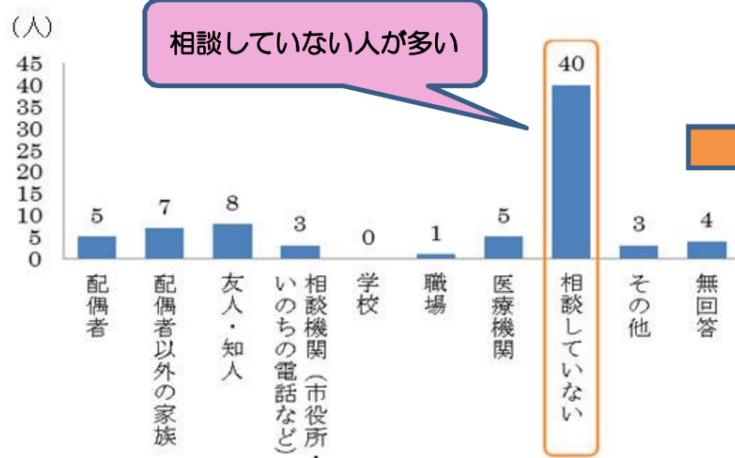
年齢別自殺者数



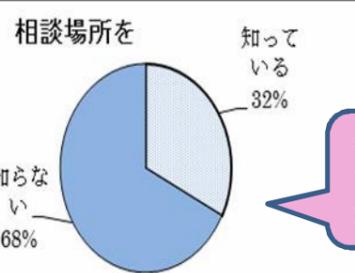
【出典】かごしま市の保健と福祉(人口動態統計)(鹿児島市)【データ】市、両性、全年齢、2008～2013年合計

交通事故による死亡者数と比べて、4.3倍以上多い

自殺を考えた時の相談相手と相談場所の認知度

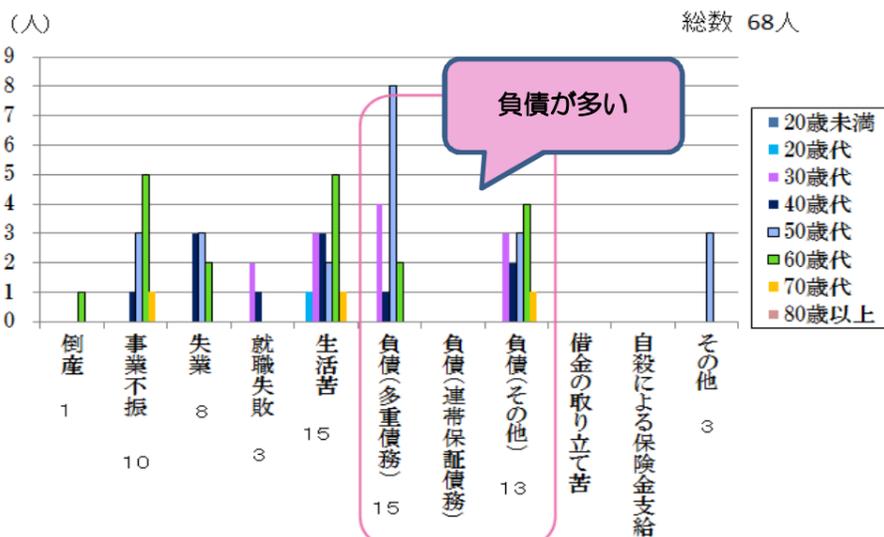


【出典】事故やけがに関するアンケート調査(鹿児島市)【データ】市、両性、50～69歳、2013～2014年度合計



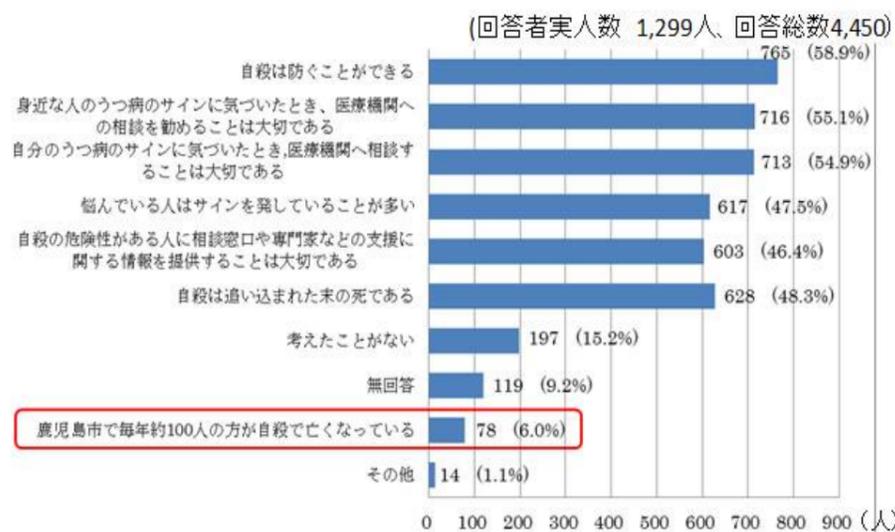
相談していない人の中で、約7割が相談場所を知らない

経済・生活問題の内容別自殺者数



【出典】自殺統計原票データの特別集計(発見日・住居地)(内閣府)【データ】市、両性、全年齢、2011～2013年合計

自殺に関する知識の認知度



【出典】事故やけがに関するアンケート調査(鹿児島市)【データ】市、両性、50～69歳、複数回答、2013～2014年度合計

鹿児島市で毎年約100の方が自殺で亡くなっていることを知っている人は6%

様々なデータから見た現状や課題

- 50・60歳代の自殺の原因は、「健康問題」「経済・生活問題」が多く、「経済・生活問題」の内訳をみると、「負債」が原因の自殺者が多い。
- 自殺を考えた時、相談していない人が多い。
- 自殺に関する相談窓口を知らない人が多い。
- 本市の自殺の現状を知っている人が一割にも満たない。

具体的な目標

中高年(50～69歳)の自殺者数の減少



自殺予防対策委員会の具体的取組

セーフコミュニティに取り組んでから拡充された4つの取組みについて紹介します！

取組み1 自殺予防の普及啓発



保健所の壁を使用した「自殺予防週間」の広報
【活動実績】

- *鹿児島市の自殺の現状の周知**
鹿児島市では毎年100人前後の方が自殺で亡くなっていること、自殺は防ぐことができることなどを各広報誌やマスメディアを通して広報します。
- *メンタルヘルス講演会等の開催**
働く世代の現状や正しい知識を広く普及し、本人や周囲の方が予防策を学ぶ機会を提供します。

内容	2013年度	2014年度
広報回数	7回	14回
チラシ配布枚数	26,314枚	18,922枚
メンタルヘルス講演会(労働者向け)	77回 2,713人	91回 2,395人(7回)

【実施者】市医師会、県看護協会、鹿児島労働基準監督署、鹿児島産業保健総合支援センター、県精神保健福祉士協会、県臨床心理士会、鹿児島県、鹿児島市

取組み2 支援者への支援

- *ゲートキーパー養成講座の開催**
- 市民を対象とした講座
- 関係機関が主体となる講座



自殺についての正しい知識を普及し、地域全体で自殺を予防していきます！



内閣府の発行したゲートキーパー手帳

【活動実績】

内容	2013年度	2014年度
ゲートキーパー養成講座	7回 388人	7回 310人

【実施者】県弁護士会、県司法書士会、県看護協会、市薬剤師会、市民生委員児童委員協議会、県臨床心理士会、県精神保健福祉士協会、県理容協会、鹿児島県、鹿児島市

自殺予防対策は生きる支援です！

取組み3 相談しやすい場の設定

- *既存の相談について、さらに相談しやすい場所・時間・方法を検討します**
アンケートの結果を基に、関係機関ごとに検討し、必要に応じて場所・時間・方法を変更します。
- *関係機関が連携し相談を受けられる場を検討します**

【活動実績】

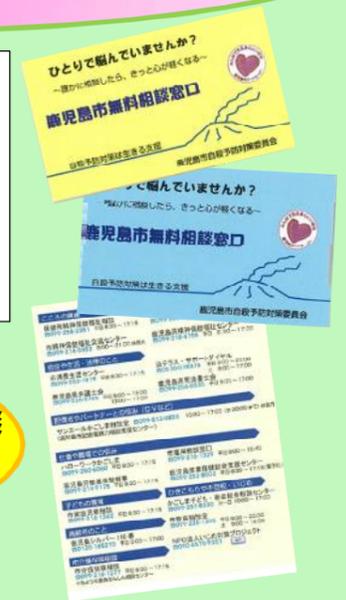
内容	2014年度
相談の開設機関数	15機関
相談者数	15,170人

対策委員会では市民アンケートを基に相談しやすい場所や時間を検討しています！

【実施者】鹿児島いのちの電話協会、市医師会、県弁護士会、県司法書士会、県精神保健福祉士協会、市社会福祉協議会、鹿児島労働基準監督署、NPO法人いじめ対策プロジェクト、鹿児島県警察、鹿児島県、鹿児島市

取組み4 相談窓口の周知

- *無料相談窓口案内カードの充実**
委員会が内容を検討し、必要な人の手に届くための設置・活用について検討します。



3万枚のカードを作成し、いざという時に相談できる効果的な方法を検討しています！

【活動実績】

内容	2013年度	2014年度
相談窓口案内カードの配布枚数	10,160枚	13,650枚
相談窓口の広報	3回	9回

【実施者】ゲートキーパー、鹿児島いのちの電話協会、市医師会、市薬剤師会、市立病院がん相談支援センター、鹿児島産業保健総合支援センター、鹿児島県警察、鹿児島県、鹿児島市